

令和2年度 東村山市障害者自立支援協議会 相談支援部会年間予定

回	年月日	テーマ	備考
/	4月16日	中止	
/	5月21日		
/	6月18日		
1	7月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自粛期間中の各機関の困りごとの共有</li> <li>・年間計画の確認</li> </ul>	
2	9月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部会長、副部会長の選出</li> <li>・情報交換 他</li> </ul>	
4	11月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報交換、社協地域福祉権利擁護事業について 他</li> </ul>	
5	12月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報交換、計画作成の受け入れ状況について 他</li> </ul>	
6	2021年 1月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書面開催（近況報告、業務を通じて困難に感じていること） 他</li> </ul>	
7	2月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度の取り組みの検討</li> <li>・基幹相談支援センターと指定特定相談支援事業所の役割分担について 他</li> </ul>	
8	3月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹相談支援センターと指定特定相談支援事業所の役割分担について</li> <li>・地域生活支援拠点の取り組みについて 他</li> </ul>	

### 令和3年1月相談支援部会の報告（意見の抜粋）

- ・市外民間経営の事業所は、福祉系法人の事業所では対応しきれないニーズをくみ上げるのが上手。しかしながら、地域連携や個別支援スキルの面では力不足を感じることもある。福祉系法人は細かなニーズに対応することが難しい反面、支援スキルや地域連携の面では強みがあると感じる。
- ・学齢期の児童の支援に関して、学校等と連携をとりたいと思いつつうまくいかず、苦慮している。
- ・ひきこもっている方への支援に悩んでいる。

### 令和3年2月相談支援部会の報告（意見の抜粋）

#### ○相談の状況・課題

- ・緊急事態宣言下で、電話相談等間接的な対応になるところと、変わらず対応しているところと様々。利用者が集まる活動は軒並み中止になってしまった。
- ・「アークこども相談センター」が開所。
- ・年末から3月にかけて引っ越しの相談が多い。しかし、精神障害だと引っ越し先がなかなかない。そのうえコロナの影響もあるのか、物件自体がなくなっている。

#### ○基幹相談支援センターとの役割分担について

- ・地域生活支援拠点がスタートし、相談支援事業所のあり方が問われている。
- ・基幹相談支援センターと指定特定相談支援事業所との役割分担を確認できると良い。
- ・基幹相談支援センターの役割として、指定特定相談支援事業所のサポートと地域のサポート体制づくりが求められている。後方支援しつつ、見えてきた課題については地域に新たな資源を作るなどして対応していきたい。
- ・計画は通所のことだけではない。本人の人生をライフサイクルで捉えて、その人の生きていくこと全体の支援に取り組むことが大切。

### 令和3年3月相談支援部会の報告（意見の抜粋）

#### ○基幹相談支援センターとの役割分担について

- ・サービス利用中の方へは指定特定相談支援事業所が中心的に支援。
- ・サービス利用前の初期相談については、るーと、ふれあいの郷が委託相談として支援。
- ・サービス利用中の方に、サービス利用以外の生活課題等が生じたときには、基幹相談支援センターが相談支援専門員に寄り添って支援する。そこから見えてきた地域課題について、スキルアップ研修の開催や、新たな資源開発を基幹相談支援センターが担う。

#### ○令和3年度の活動予定について

- ・隔月で事例検討を行う。
- ・令和3年度の報酬改定等を学習する機会をつくる。
- ・児童分野等ある程度ターゲットを絞ったテーマで検討する。
- ・部会活動、地域の支援体制等の市民周知を行う 等